

【自然保護委員会】

アサギマダラを求めて

開催日：9月30日（土）

参加者：7名（スタッフ含む）

コース：阪急御影駅～五助堰堤～住吉道～七曲り～六甲最高峰～有馬温泉駅（約10キロ）

ようやく秋風を感じられるようになった9月の終わりに、ヒヨドリバナの蜜を吸いに飛来するアサギマダラに会おうと御影から有馬まで歩いてきました。

集合場所で環境省のレンジャーからアサギマダラの生態について詳しい説明を聞き、いざ出発。住宅街を抜け五助堰堤へ向かう分岐をうっかり車道沿いに100m程度登ってしまい、慌てて引き返す。頼りない先導なのに皆さんに優しい言葉をかけていただく。山道をしばらく行くと堰堤の少し手前で早速アサギマダラに出会う。優雅に飛び蜜を吸う姿をしばらく観察し、撮影し、名残惜しいが先へと進む。

住吉道の登りは木陰に入ってもまだ暑く、登りも長く感じられ、山頂で昼食にしたかったが正午を過ぎたため七曲りに入る手前、川の渡渉地点で休憩となる。この頃から小雨がパラパラとしはじめ、長居せずに再び登ることにする。

やっと着いた頂上下のトイレのベンチは寛ぐ人たちでいっぱい、すでに13時を回っており、有馬へ急ごうかと思ったが、参加の方々の山頂へ寄りましょうよ！の強い希望があったため皆であとひと登りした。小雨も上がって青空となり、景色も見渡せ笑顔で集合写真を撮ることが出来た。六甲山最高峰と書かれた碑の、峰の字を手で隠して「六甲山最高」とするのが流行っていると聞き、撮影してもらおう。

魚屋道の下りでもう一度アサギマダラに会うことが出来た。二度も見られてもう大満足だ。有馬までの九十九折りを人生の先輩方のお話を聞きながら歩く。私も皆さんのようにまだまだ長く山を楽しめるよう健康でいたいなと思っているうちに温泉街が見えてきた。

長い一日だったが無事下山できたことに感謝し解散。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

（自然保護委員 須川幸枝）